

かがやく明日のために

# With You NAGANO

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、年3回、市民編集委員と共に様々な視点から情報を発信しています。令和4年度 長野市男女共同参画優良事業者賞を受賞された、株式会社サフィックス(コーティング剤の企画・開発・販売)取材しました。

## 令和4年度 長野市男女共同参画優良事業者ご紹介 株式会社サフィックス様 受賞

本市では、市内に本社機能を持つ従業員300人以下の事業所で、男女共同参画の推進に積極的に取り組む男女共同参画優良事業者を毎年表彰しています。昨年度は株式会社サフィックス様が受賞しました。その取り組みについて代表取締役の景山斉さん、事業執行責任者の杉浦花音さんのお二人をお話を聞きました。



株式会社サフィックス様に萩原市長から、賞状と記念の盾が手渡されました。

《優良事業者選定理由》  
●「子育ては会社の仕事よりも優先される」と位置付けており、役職を設けないフラットな職場で事業に取り組んでいる。  
●社長と社員との距離が近く、社員のお子さんも社長や他の社員に懐いている感じが見受けられ、社長自ら、男女共同参画、働き方改革、子育ての在り方に取り組んでいる。

### 不便をピンポイントで解消できる「サフィックス」

「貴社について教えてください。」  
景山：8月現在、従業員は9名で全員女性です。

サフィックス(Suffix)は「接尾語」という意味の英語です。接尾語が異なるとまったく違った意味の言葉になります。単語につく接尾語によって言葉の性質が変わるように、商品も組み合わせを少し変えることでまったく違った性質を持ち、別の商品となり、不便をピンポイントで解消できるようになります。社名にはそんな意味が込められています。



代表取締役 景山 斉さん

現在は、アクセサリーのコーティング剤の製造をしています。



Suffix Co.,Ltd.

取りを考えたがちですよね。でも、子どもの機嫌がどうしても悪い時は、割り切って子どもと遊ぶ時間になります。子どもは午前中に思いっきり遊べば、午後はお昼寝するという流れが分かっているから大丈夫です。

景山：大事なのは、やる時はしっかりと仕事モードに切り替えることです。今、何ができて、何をやるのかを、自分で考えて行動できないと、当社で働くのは難しいと思います。

「フラットな会社づくりで大切にしていることは？」  
景山：当社は、指揮系統や上下関係のないフラットな組織づくりに取り組んでいます。具体的には、生産の優先順位は工場の社員が状況判断しながら決めます。急な増産が必要になった場合でも、現状の生産ラインに

### 子育ては「仕事より優先される」

景山：当社は「子連れ出勤OK」です。新しく入社した社員が子どもを連れてくると、まず、子どもが職場の環境に慣れるまでに時間がかかります。最初、親である社員は「他のみんなは仕事しているのに、私だけ子ども

例えば、金属アレルギーのある人は、かわいいアクセサリーをつけたいと思っても、アレルギーがあるから諦めてしまう。できないことがあることは、生活の基本的な部分で満足できていない、不便なことだと思いつつ、不便を便利に変えると言っても、車の自動運転のような凄まじいことをしようとしているわけではありません。生活の中の何かを少し変えることで、個人の満足が得られるようにする。そんな、生活に密着した商品を提供していきたいと考えています。

どのように割り込ませるか、工場の社員全員で考えて決めます。もちろん調整役は必要ですが、それぞれの社員が主体性を持った働き方をしています。子育ては、突発的な出来事の連続です。例えば、子どもに少しでも発熱があれば保育園ではあずかってくれないという話を聞きます。当社は、仕事しながら目の届く範囲に子どもがいるので、少々の熱であれば、会社に連れてきて仕事することが出来ます。出勤が無理な場合は在宅で勤務できます。こうした仕事と育児に柔軟な対応ができるのは、社員それぞれが主体的に働いているからだと考えています。

### 取引先の反応や変化

景山：私は杉浦さんに「営業先の会社で、子どもを連れていくことを嫌がられたら、すぐ席を立って帰ってきていいよ」と言っています。どれほど大事なお客様でも、それを受け入れられない会社は、うちのお客様じゃないからと話しています。

杉浦：今のところ、営業先で嫌な顔をされたことはないです。逆に「いいなあ。いい会社だね」と言われます。

最近、出張した時に「このピ



今、子どもたちのブームは、風船をボールにしたバスケットボールだそうです。

としましたが、それまでは私一人で業務をこなしていたため、子育て中の社員を受け入れる体制は用意できていませんでした。「会社を家のリビングみたいにする方がいい。リビングで子どもを遊ばせながら仕事をしている感覚なら、安心して仕事も、子育てもできるだろう」と思いました。視点を少し変えて、会社で仕事をしながら子育てができるようにするという感覚ではなく、家で子どもの面倒をみながら、仕事ができるようにするという感覚をベースに考えました。この発想がスタートです。

「最初、どう思いましたか？」  
杉浦：はじめ「会社の案内で、『子連れOK』とあるけれど、どうい

「子どもが泣き止まない時は？」  
杉浦：入社してすぐの頃、泣き止まない時がありました。その時、「仕事より子育て優先」の言葉に助けられました。今は息子が「絶賛イヤイヤ期」なので、ギャンギャン泣いていたとしても、できるだけ見守るようにしています。甘やかすのではなくて、教育も兼ねてやらせてもらっています。

朝、出社した時、「午前中はここまで仕事を済ませる」と段



取材日は夏休み中でしたので、いつもよりたくさんのお子さんが来てにぎやかでした。

お問い合わせ  
**長野市男女共同参画センター**  
(指定管理者 協同組合長野シーアイ開発センター)  
〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1  
勤労者女性会館しなのき 内  
☎026-237-8303

国際ソロプチミスト長野みずす様より男女共同参画啓蒙事業のため、**対面相談用丸テーブルとリモート講座用ヘッドセット**を寄贈していただきました。